

## 1930-60年代草創期フランス・テレビと演劇

## 大谷理奈

以下は、現在執筆者がフランス国立図書館にて進行中の劇作家ジャン・アヌイとその作品のテレビにおける扱われ方に関する調査の中間報告である。

テレビ放送の草創期において、演劇作品や俳優を流用することは英米のようなテレビ先進国では1920年代にすでに採用されていた手法である。その範に倣う形となったフランスのテレビ番組制作陣が演劇に期待した2つの役割は、まずレパトリーの提供、そして低予算での制作であった。この背景には、1964年まで単一チャンネルによる国営放送のみであり、厳しい予算によって運営されていたフランスのテレビ事情があった。テレビ向けに新たなシナリオの執筆を発注する代わりに、既存のテキストに基づき、舞台美術や衣裳、演出すらもパッケージ化され流用可能であった演劇作品は、娯楽のためのフィクションというテレビ局の需要に合致するものであった。

そもそも当時のフランスは放送技術、受像機の普及、及び番組内容の充実という面において、英米の後塵を拝していた。戦後、占領軍の置き土産となったエッフェル塔のアンテナ、放送機材、そして技術を礎に、漸くフランス・テレビ史が動き出すこととなる。1950年の時点でフランス全土のテレビ受像機の台数はわずか3794台を数えるのみであり、テレビの大衆化に向けて放送技術の発展と並行して放送番組のジャンルの多様化と質の向上が急務となった。

最初期のテレビ放送では、演劇はまず文化報道のなかで登場する。占領下の1942年に独仏協同で立ち上げられた*France Actualité*のニュース番組内にすでにその傾向を確認でき、1943年10月12日の放送でジャン・アヌイの戯曲『荷物のない旅行者』*Le Voyageur sans bagage*の映画化が撮影風景とともに伝えられている。

この一方で、演劇上演そのものの放映には未だ課題が残されていた。30-40年代に人気のピークを迎えていたラジオドラマと比べると、演劇作品を録画・放映するにはまだまだ金銭的・技術的な壁が高く、戯曲の一部が番組内で演じられるという形態が一般的であった。それでも1950年2月24日にはマリヴォー作『愛と偶然の戯れ』

*Jeu de l'amour et du hasard* 全幕がコメディ・フランセーズより放映され、これがフランス史上初の生中継となった。50年代後半に入ると、演劇作品を通して放映する番組が散見されるようになる(アヌイの戯曲が初めて全幕放映されるのもこの頃である)。

定期的な演劇上演の放映が実現するのはさらに後の1966年、マリニー劇場で20年に渡って公開録画を行った*Au Théâtre ce soir*以降のことである。そのレパトリーは多岐にわたり、フランス内外311名の作家による416もの戯曲を放映した。

さて演劇作品がテレビの番組構成のなかで娯楽・文化を担う存在となる一方で、その出演者への関心も高まっていった。興味深い一例は1956年11月6日放送のバラエティ・ショー*Bouquet de joie*である。ステージ上には作家アヌイの遠縁を名乗る「アヌイ氏」。そのごこちない様子は、華やかな歌手やダンサーといった出演陣からひときわ浮いてみえ、その登場は番組の主旨にそぐわないものとする思われる。しかし放送の前月、アヌイ作*Pauvre Bitos*の公開最終稽古で、ほとんど暴動といえる騒動が起きている。劇場でのスキャンダルが視聴者の関心を喚ぶとの制作陣の判断からは、演劇関係者へのゴシップ的な関心の芽生えが確認できるだろう。

演劇とテレビの協調関係は、しばしば批判の対象となりながらも、以上のようにフランスの初期テレビ放送を取り巻く技術的、経済的及び社会的な状況によって自ずと成立したものであったが、技術の発展、経済規模の拡大やメディアとしてのテレビの重要性の増大とともに、テレビにおける演劇は、文化・教養としての劇場中継、娯楽としてのドラマやテレビ映画(téléfilm)といった異なる形態へ分化していき、その役割も変化していった。今後の調査では、70年代以降のテレビにおける演劇、また90年代以降急速に流行した、演劇における映像の使用、あるいはテレビ文化へのレファレンスなどについての考察も課題としたい。

参考：文中で言及した映像作品については全て、執筆者がフランス国立図書館研究図書館オーディオ・ビジュアル資料室にて視聴したものである。

JEANNENEY, Jean-Noël (dir.). *L'écho du siècle : Dictionnaire historique de la radio et de la télévision en France*. Paris : Hachette-Littératures et Arte-Éditions. (1999) p.602.

ALBERT, Pierre et TUDESQ, André-Jean. *Histoire de la radio-télévision*. Vendôme : Presses universitaires de France. (1991) p.127.